

認知症の人サポートするために

認知症の人への対応の心得

驚かせない

急がせない

自尊心を傷つけない

具体的な 対応のポイント

まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人に気づかれないように、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。近づきすぎたり、ジロジロ見たりするのは、禁物です。

余裕を持って対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。

声をかけるときは一人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声をかけます。

後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ったところで声を掛けます。唐突な声かけは禁物です。「何かお困りですか」「お手伝いしましょうか」「どうかなさいました?」「こちらでゆっくりぞうぞ。」など

相手に目線を合わせてやさしい口調で

小柄な方の場合は、体を低くしてこちらが目線を同じ高さにして対応します。

おだやかに、はっきりした滑舌で

高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくりとはっきりした滑舌を心がけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。その土地の表現でコミュニケーションをとることも大切です。

相手の言葉にゆっくり耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の人は、急がされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えるのも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。たどたどしい言葉でも、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきます。